

平成 28 年 12 月 16 日

古賀市議会
議長 結城 弘明 様

補正予算審査特別委員会
委員長 井之上 豊

補正予算審査特別委員会審査報告書

本委員会に付託された第 91 号議案「平成 28 年度古賀市一般会計補正予算（第 4 号）について」から、第 93 号議案「平成 28 年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）について」までの 3 議案についての審査結果を、委員会条例第 110 条の規定により報告します。

12 月 9 日に委員 18 名の出席のもと、副市長以下関係各部課長から補正予算の概要説明を受け審査を実施しました。

なお、計数などの詳細につきましては、議長を除く議員全員の特別委員会であり省略し、概要を報告いたします。

記

第 91 号議案 平成 28 年度古賀市一般会計補正予算（第 4 号）について

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ 7 億 3,057 万 3,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 207 億 1,013 万 6,000 円とするものです。

補正の主なものは、臨時福祉給付金 1 億 5,600 万円、私立保育園の入所見込み増に伴う運営費補助 1 億 3,891 万 1,000 円、県道中川熊鶴線整備の進捗に伴う負担金として 3,000 万円の追加等です。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1. 私立保育園運営補助事業費の業務効率化推進事業補助は、事故防止カメラ設置及び保育システム導入を補助するものとのこと。事故防止カメラは職員室等でモニターを設置するかたちで未然に事故を防ぐ。また事故が起きた時、事故後の検証のためのビデオカメラとのこと。また保育システムの導入は、舞の里バディ保育園の 1 園のみで、内容は、保育士が手作業で行っている台帳記入などを、パソコンで管理することにより、保育士の業務負担軽減、保育の質の向上を図ることが目的とのこと。

2. 自立支援給付費の増額は、対象者が増えたことが一つの原因、また平成 27 年度に市内の B 型事業所が 5 カ所に増えたこと、障害児通所支援事業所が当初予算作成時以降 2 カ所増えたことも要因と考えられるとのこと。
3. 荒廃森林再生事業は、県補助費の追加交付に伴い、前倒しで実施し、平成 29 年度で終了とのこと。
4. 経営体育成支援事業補助は、今回導入を予定されている認定農業者は、水稻とブロッコリーや、スイートコーン等の野菜の複合経営をされている方。見込まれる効果は、機械を導入することにより省力化を図り、経営面積を拡大し、経営効率を上げていくとのこと。
5. 消費税引上負担軽減事業費の臨時福祉給付金については、消費税引上げに伴う食費の負担増相当額を 2 年半分一括給付する。その理由は事務費の発生を抑えるためとのこと。

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定した。

第 92 号議案 平成 28 年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第 5 号)について

この補正予算は、歳入歳出それぞれ 3,666 万 7,000 円を追加し、補正後の予算を 72 億 5,079 万 4,000 円とするものです。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり

1. 高額医療費共同事業拠出事務費の増額は、C 型肝炎新薬等の高額薬剤による調剤費などの急激な上昇によるものとのこと。

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定した。

第 93 号議案 平成 28 年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第 3 号)について

この補正予算は、歳入歳出それぞれ 44 万 4,000 円を追加し、補正後の予算を 8 億 6,278 万 2,000 円とするものです。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり

1. 汚水処理事業費は、沈殿槽内の蓄積汚泥を 30 m³追加して引き抜くことに伴う増額とのこと。水質については、週 1 回の点検管理を行い、安定した水質を担保しているとのこと。

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定した。